



学校だより

12月



令和2年11月30日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

南小オリンピック

校長 高橋 剛

今年度の南小オリンピックにつきましては、感染予防のために、練習や準備においても児童が密にならないように配慮しながら、半日の開催となってしまいました。保護者・地域の皆様の声援はありませんし、ダンス系の演技は6年生のソーラン節のみです。例年行っていた騎馬戦等ありません。実際に始まるまでは寂しい運動会になってしまうのではないかととても心配しておりました。しかし、徒競走や団体競技に臨む児童の真剣さ、一生懸命さはとても素晴らしく、我々教職員の不安を払拭してくれました。特に6年生のソーラン節は前週に保護者に観ていただいたときよりも気合いが入っていて、他学年の児童たちはおしゃべりもしないで食い入るように観ていました。自分たちが6年生になったらあんなふうには踊りたいと思っているのだろうと感じました。

閉会式で児童運営委員会の篠田美優(6年)さんが、とても素晴らしいまとめをしてくれたので紹介します。

みなさん、今年の南小オリンピックはどうでしたか。全力で楽しむことができましたか。

今年の南小オリンピックはいつもとは全くちがうものでした。平日に行われ、家族や地域の方に見てもらうこともできませんでした。ほかの学年の演技もありません。最初は、「私たち6年生にとっては最後の南小オリンピックなのに」という残念な気持ちがありました。

しかし、準備を進めていくと残念なことばかりではありませんでした。私たち6年生は特別に、去年の6年生もおどったあこがれのソーラン節をおどることができたのです。10月の中旬から今日まで、たくさん練習をしてきました。3密を避けたりマスクをしたりするなどの工夫が必要でしたが、今日、全校の前でひろうできたことがとても楽しかったし、思い出に残りました。

その他にも、毎年5月に行われていたものが11月になったことで、仲間のことがよくわかり、団結しやすい部分もありました。団体競技では、今年は騎馬戦ではなく綱引きになりましたが、ルールを工夫したり作戦を考えたりしでもり上がりました。

「去年はこうだったのに」とマイナスに考えるのではなく、「今だからできることがある」ということを今日の南小オリンピックで学ぶことができました。

今できることにせいっぱい取り組み、今年のスローガン、「カラフルな南小オリンピックを全力でたのしもう」を達成することができたと思います。

これからも、今だからできることをみんなで考え、カラフルな南小を目指しながら学校生活を楽しんでいきましょう。

篠田さんが言っているように、今後もコロナ禍だからこそ「今できることを精一杯取り組む」を大事にしていきたいと思います。最後に、保護者・地域の皆様には南小オリンピックの参観を控えていただくようお願いしました。このことにつきまして、大変心苦しく思っておりますし、ご理解・ご協力をいただきましたことに、心より感謝しております。本当にありがとうございました。